

# CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0

1. 建物概要				
建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)ワンノール紫竹山 新潟県新潟市中央区紫竹山2丁目68番2 外6筆 準住居地域・第一種住居地域/その他地域(第22条地域) 集合住宅 2019年3月 竣工 1,858.34 m <sup>2</sup> 671.70 m <sup>2</sup> 2,548.68 m <sup>2</sup> 地上5F RC造 実施設計段階評価 2017年12月4日			
2. CASBEE新潟の評価結果				
		B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{31.8}{43.4} = 0.7$	
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★				
3. 新潟市の重点項目の評価				
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 2.3		バリアフリー計画 維持管理 設備の更新性	Q2.1.1.3 1.0 Q2.1.3 3.0 Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 2.6		耐震・免震・制震・制振 信頼性	Q2.2.1 3.0 Q2.2.4 2.2
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用	LR1.1 4.0 LR1.2 2.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 1.7		節水 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.1.1 1.0 LR2.2.4 1.0 LR2.2.6 3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.0		生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上	Q3.1 1.0 Q3.3.2 1.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 2.0		まちなみ・景観への配慮 地域性への配慮、快適性の向上	Q3.2 2.0 Q3.3.1 2.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項				
周辺環境との調和と、維持管理・メンテナンスのしやすさに配慮し計画する。				

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ワンノール紫竹山	階数	地上5F
建設地	新潟県新潟市中央区紫竹山2丁目68番2 外6筆	構造	RC造
用途地域	準住居地域・第一種住居地域/その他地域(第22条地域)	平均居住人員	64人
地域区分	5地域	年間使用時間	XXX時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 竣工	評価の実施日	2017年12月4日
敷地面積	1,858 m <sup>2</sup>	作成者	鈴木雄一
建築面積	672 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,549 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Qのスコア = 2.2

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.2

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
ハイスペックになりすぎないように、継続的にメンテナンスを出来るように、居住者が不便さを感じないような設計に配慮した		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
隣接する部屋の騒音対策に配慮した	住戸の広さ、天井高さに配慮した	建物の配置を、周辺住宅から距離を置き、共存に配慮した
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
機器に頼らないように、断熱性能を上げるなど配慮した。	有害物質を含まない材料を使用し、環境へ配慮した。	利用者のための駐車台数・駐輪台数、荷捌スペースを確保し、周辺へ迷惑のかからないように配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される